

北茨城市ICTスキルアップ研修会

～「新たな学びのスタイルを模索していくためのICT活用」を目指して～

1 はじめに

北茨城市は、茨城県の最北部に位置し、南は高萩市、北は福島県いわき市と隣接しています。また、市の総面積の約32%は山林で、東部は低地で太平洋に面し、市内を流れる大北川、里根川などの流域には、豊かな平坦地が広がっています。古くから、農業や漁業を中心に栄えましたが、江戸時代後期に石炭が発見され、常磐炭田の中核として活況を呈し、今日では工業地帯として飛躍的な伸展を見せています（北茨城市HPより）。

令和7年12月には、北茨城市の大津港周辺で5年に一度開催される「常陸大津の御船祭」が、「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。佐波波地祇（さわわちぎ）神社の例大祭で、約300年の歴史があり、大漁と海上安全を願う巨大な木造の神船が500人ほどの引き

手によって陸上を曳きまわされ、港町を勇壮に疾走します。また、地元の子どもたちが継承し取り組んでいる笛や太鼓のお囃子が祭りを盛り上げ、県内でも珍しい「御船歌」も奏上されるなど、貴重な伝統文化が次世代に引き継がれています。

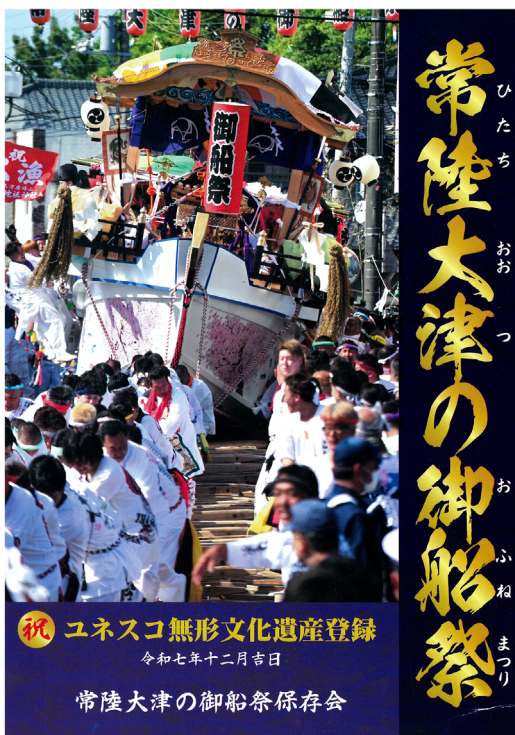
市の人口は38,722人（令和7年4月現在）で、市立学校は小学校11校、中学校4校で、複式学級がある学校から、1つの学年が4学級ある学校など、様々な規模の学校があります。

北茨城市の教育目標は、「健康な心身と勤労を尊ぶ心を養う・自然を愛し協力し合う心を育てる・進んで学び創造性をつちかう」となっており、「郷土への愛着と誇り」をもち、未来を切り拓く人づくり」を市の教育大綱の基本理念として掲げ、それらを具現化するために学校教育プランにおいて、①「心の居場所となる学校・学年・学級づくり」、②「確かな学力・豊かな心・健やかな体」、③「地域と共に歩む学校づくり」、④「教師の資質・能力の向上」の4つの柱を立てて教育活動に取り組んでいます。

2 北茨城市ICTスキルアップ研修会について

(1) ICTスキルアップ夏季研修会について

本研修会は、市内に在籍する教職員を対象として、令和5年度に第1回の研修会が行われ、今年度、2年目となります。1人1台端末を活用した授業づくりが始まってから5年が経ち、ICTの活用は、「とにかく使ってみる」から、「効果的な活用」へとステップアップしてきました。近年求められている探究的な学びや自由進度学習などの学習者が主体となる授業づくりでは、児童生徒がICTの活用を選択肢の一つとして、自らの学びを主体的に自走していくことが大切です。そのためには、私たち教師



が、「学び続ける教師」として、「新たな学びのスタイルを模索していくためのICT活用」を目指し、スキルアップをしていくことが大切であると考え、本研修会を実施することとしました。

① 研修日程について

本研修会は、夏季休業期間を利用し、令和7年8月1日（金）・8日（金）・19日（火）の3日間に分けて、全9講座を開催しました。研修会を開催するにあたり、北茨城市立中郷第一小学校を会場校とし、3教室を利用して行いました。参加者の多い講座については、1回の講座を20名程度に調整し、同講座を2回に分けて行いました。また、参加者がICT操作をスムーズに行えるように、本市教育研究会情報教育部員や本市ICT支援員の協力を得て、操作の補助ができる体制を整えました。

② 研修会の講座紹介について

今年度の研修会の講師は、ICTを効果的に活用した授業を実践している市内5名の教員と、県内の情報教育を牽引されている市外3名の指導主事及び教員を講師に招いて実施しました。（以下に講師と講座内容をご紹介します。）

北茨城市教育委員会主催
R7
北茨城市 ICTスキルアップ 夏季研修会
新たな学びのスタイルを模索するICT活用

一人一台端末を活用した授業づくりが始まって5年。研修と実践を積み重ねながら、ICT活用は「とにかく使ってみる」から「効果的な活用」へとステップアップしてきました。それでは、次のステップはどうか？それは、「使うかもしれない」ではないでしょうか。「効果的な活用」から考えようか？それは、「使うかもしれない」ではないでしょうか。近年求められる探究的な学びや自由進度学習などの学習者主体となる授業づくりでは、児童生徒はICT活用を選択肢の一つとし、自ら学びを進めていくようになることが大切です。つまり、私たちは「新たな学びのスタイルを模索していくためのICT活用」に向けてスキルアップをしていく必要があります。

そこで今年度は、市内で実践を積んでいる先生方に加え、県内の情報教育をリードされている先生方を講師としてお迎えし、さらに質の高い研修を設定しました。また、安心して参加していただけるように各講座には市情報教育部員や市ICT支援員がサポートとして参加します。ぜひ本研修を先生方のステップアップにお役立ていただければ幸いです。

開設講座 会場：中郷第一小学校
8月1日 5. パソコン入門タッチ
6. さらっとスクリーン
7. キャンバってみます？
8月8日 1. Padletは黒板以上！？
2. 生成AIにはAIがある
3. NHK for schoolの活用
8月19日 4. スムーズ!!業務改善
8. デジタルでつながろう
9. お手軽に作れます!!

特設サイト
詳細は白のQRコード
「R7 ICTスキルアップ
夏も研修会特設サイト」
で確認して下さい。

ご質問がありましたら、以下にお問い合わせ下さい。
中郷第一小学校 指導教員 橋本由穂
Resimoto_mihunori@ncc.jik.ac.jp

北茨城市教育委員会
〒312-0201 茨城県北茨城市
中郷第一小学校

ア 「Padletは黒板以上!? ～教育現場で輝く共有・対話・ふりかえり～」

講師：茨城県教育委員会教育改革課ICT教育推進室指導主事

講座紹介：Padletは、ICT初心者でも気軽に使えるデジタル掲示板です。黒板では見えにくいアイデアや気付きを一つに集め、協働学習や振り返りの質を高めることができます。今回は基本操作に加え、教科学習や学級活動、学びの可視化への活用方法について、体験を交えて紹介します。「やってみたい!」を見つけ、黒板の「その先」の授業づくりをご一緒に!

イ 「生成AIにはAIがある ～生成AIを使って素敵な1日を～」

講師：かすみがうら市立霞ヶ浦中学校 教諭

講座紹介：生成AIの名前は聞くけど、効果的に使えていますか? 「よく名前は聞くけど実際よくわからない」「だいたい思ったものがでてこない」「著作権って?」「効果的に使ってスピーディーにすすめたい」いえいえ、皆さん。出来ます。生成AIで認めAI、高めAI、そして学びAIながらAIを取り戻せ!! ※R6霞ヶ浦中の生成AIパイロット校での実践も少しお見せします。

ウ 「NHK for Schoolの活用 ～『ただ見せる』から『学びのきっかけに』～」

講師：水戸市立下大野小学校 教諭

講座紹介：NHK for Schoolには、学級づくり・道徳・国語・理科など、子どもたちの心を揺さぶり、学びを深める番組が数多くそろっています。YouTubeとは一線を画すクオリティもNHK for Schoolの魅力の一つです。実際に番組を視聴し、語り合い、考えを広げる体験を通して、子どもたちが“動き出す”授業づくりをぜひ一緒に考えてみませんか?

エ 「スムーズ!!業務改善 ～Googleフォームの活用～」

講師：北茨城市立中妻小学校 指導教諭

講座紹介：行事等の反省を職員で共通理解していますか?振り返りが必要なのは子どもだけではありま

せん。私たちも振り返りをして次年度の業務の改善を図りましょう。Google フォームで集めれば、あっという間に共通理解できます。保護者の出欠確認も用紙を集める必要なし。2024年12月に改訂になった点もぜひ確認しましょう!

オ 「パソコン入門ダッシュ ～『ICT活用ベーシック～』

講師：北茨城市ICT支援員

講座紹介：「アカウント」や「ブラウザ」などの基本的な用語や授業での困ったあるあるを確認し、安心してタブレット活用ができるようにするための講座です。学び直したい方、このチャンスにぜひ!

カ 「さらっとスカイメニュー」

講師：北茨城市中郷第一小学校 指導教諭

講座紹介：スカイメニューの発表ノートを使った授業づくりについて扱います。実践紹介だけでなく、実際に発表ノートを操作し、準備から返却まで、授業での活用イメージがもてるようにします。スカイメニュー初心者におすすめです。

キ 「キャンパってみます?」

講師：北茨城市中郷第一小学校 教諭

講座紹介：最近、「キャンバ (Canva)」って耳にするけれど、何となくここまで使わずに…なんて方、いらっやいませんか?ポスター作りをしながら、まずはいじってみませんか? Canva スタートのきっかけづくりにオススメです!!

ク 「デジタルでつながろう ～Canva で連絡帳～」

講師：北茨城市立中郷第一小学校 指導教諭

講座紹介：毎日の連絡帳をもっと効果的・効率的に運用しませんか?簡単に仕組みを学んだあとは、夏休み後から使える my 連絡帳を作っちゃいましょう!! 担任外の先生や中学の先生にも役立つヒントがつまっています!!

ケ 「お手軽に作れます! ～『Canva』のマジック作文活用法～」

講師：北茨城市立精華小学校 教諭

講座紹介：「Canva」の生成 AI 機能を使って、お手軽に色々なものが作れます。作文、歌詞、画像…。私は、

なんちゃってミュージシャンになってクラスの子もたちと学級歌を創作しています。実践事例を紹介しながら、みなさんと歌詞作りを体験したいと思います。

③ ICTスキルアップ夏季研修会の様子について

第1日目の8月1日は、1講座60分の講座を3講座行いました。参加者は、タブレットを持参し、講師の指導の下、実際にスカイメニューの発表ノートや Canva を操作し、授業で活用できる実践的な研修に熱心に取り組んでいました。第2日目は、市外から招待した3名の講師による1講座80分の講座を3講座行いました。Padlet を活用した協働学習や生成 AI の授業や授業準備での活用方法、NHK for School の効果的な活用の紹介等、先進的な取組を交えた質の高い研修が行われました。第3日目には、1講座80分の講座を3講座行いました。業務改善に向けた Google フォームの活用や、保護者との連絡ツールとしての Canva の活用方法、学級の経営にも生かせる Canva を使った学級歌の作成方法等についての講義が行われました。3日間、全9講座(複数回実施含む15講座)の研修会に、市内125名の教職員が参加しました。また、1人が複数の講座に希望し受講できるようにしたため、参加した延べ人数は302名となりました。参加者は、ICTのスキルアップとその先にある授業改善を目指し、意欲的に学び吸収しようとしていました。



また、研修会の第3日目には、茨城新聞社の取材があり、本研修会の様子が令和7年9月4日の茨城新聞に掲載されました。



出典：茨城新聞

④ ICTスキルアップ夏季研修会の成果と課題

本研修会後のアンケートでは、研修会に「満足・やや満足」と回答した参加者は、全体の約96%でした。また、約72%の参加者が、今後の授業や業務に生かせると回答していました。

参加者からは、「ICTツールの新しい活用方法を知ることができた」、「幅広いツールの機能や教育現場での使い方を学べた」、「実践的な研修でICTについての理解が深まった」、「講義だけでなく実際に操作するワークショップ形式だったため、すぐに活用イメージを持つことができた」、「アンケート作成、連絡帳、資料作成など、校務負担の軽減につながる具体的な方法を学べた」、「講師やICT支援員が多く配置され、質問やトラブル対応がすぐにできたため、安心して学習できた」などの意見があり、研修の成果を実感できた参加者が多くいたことが分かりました。また、課題（改善が必要な点）として、「内容が盛りだくさんで『もっと学びたい』『応用編も聞きたい』と感じ、消化不良感が残った」、「児童のICTスキルに応じたサポートや、生成AIを授業でどう取り入れるか具体的にイメージしづらい部分もあった」、「一度の研修だけ

では『忘れてしまう』『使いこなせない』という不安があり、復習や定期的な学習機会を望む」などの意見がありました。

(2) ICTスキルアップ冬季研修会について

ICTスキルアップ夏季研修会では満足度が高かった一方で、生成AIを授業に生かせるかという点で課題が見られました。それを受けて、先進的に研究している他県の取組と、茨城県の指定を受けて実践している本市の取組についてオンラインで発表していただき、生成AIを活用した授業づくりや活用方法についてイメージをもつことを目的として本研修会を実施しました。

① 研修日程について

本研修会は、令和7年12月22日(月)15:00～16:00にオンライン形式にて実施しました。本研修会を実施するにあたり、国立大学法人北海道教育大学附属旭川小学校で先進的な取組をされている3名の先生と、茨城県の「令和7年度英語教育AI活用推進事業」のモデル校として指定を受け、北茨城市中郷中学校で生成AIを活用した英語科の「書くこと」における授業研究に取り組んでいる1名の先生に授業実践を発表していただきました。

② 研修会の発表内容について

A 発表内容:「生成AIを『使わせない』から『賢く使う』への第一歩」～生成AIへの「冷静な態度」を養う3つの実践事例から～

発表者1：北海道教育大学附属旭川小学校 主幹
教諭1名、教諭2名

北海道教育大学附属旭川小学校の4～6年生で実践した生成AIを活用した4つの授業（①6年生道徳、②5年生社会科、③4年生学級活動・4年生国語科）における児童の学びの姿を分析し、その結果から生成AIを授業で活用するための考え方と「新たな情報活用能力体系表（試案）」を提示する。

イ 発表内容:「教科指導における生成AIを活用した授業実践例」

